



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第17回例会(11月1日)
平成25年11月8日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)
FAX(653)5622
例 会 日 毎週全曜日12時30分～

会 長 平井 滋
幹 事 平野 佳則
会 報 金子 真也
クラブ直通電話 TEL(653)5682

Engage Rotary, Change Lives. "ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を"…… Ron D. Burton

新入会員卓話

「災害と我々の仕事」



菱和建设㈱ 専務取締役
海野 尚 君

最近、自然災害がますます猛威をふるってきていると感じているのは私だけじゃないと思います。そこで我が社がどんな対応しているかを紹介したいと思います。

3.11の東日本大震災以降これでもかというようにいろんな形で災害が起きています。

今年をとっても夏の大雨、「これまでに経験したことのない大雨」という言葉が頻繁に使われるようになり、「命を守る行動をとってください」とテレビから語りかけられる時代になっています。避難勧告とかも発信されますが、どう行動するかは自分の考え次第です。人を当てにしているとそれこそ命が危なくなりそうです。各自治体、会社で、さまざまな形で避難訓練、防災訓練を重ねていくことが大事だと感じています。

当社ではBCP(Business Continuity Plan)事業継続計画というものを作成して災害及び不測の事態が起きた時どう対応するかをマニュアル化しています。

当社としてはBCPの発動基準は震度5強以上の災害発生時に、対策本部を30分以内に立ち上げ、指示命令系統を確立し、建設会社の社会的責任として、各発注者と連絡を取り地域の現状を把握し、道路の復旧などインフラ復旧工事に積極的に協力することと、自社施工中現場、竣工物件の被害に対して早期復旧に全力をかたむけるといふものです。

今となっては地震だけではなく大雨洪水、台

風、竜巻もあり、いろんな局面が考えられると思います。マニュアルはあってもその通り動けるわけではありません。要請を受けながら臨機応変に対応していかなければなりません。

我社の今の社屋は震災後に新築しました。地震時の経験をもとに停電になった時にいつでも自家発電(発電機)で対応できる部屋を設けております。非常食、飲料水を常備しています。またいざという時の解体用の道具などを準備しております。

先日みたち地区の防災訓練があり1丁目の一時避難場所に当社が当てられ、町内会長、各班長他が集合して確認作業がありました。我社の敷地の交差点角には、太陽光と風力でいつでも夜間自然点灯する街灯を設置しています。停電時はそこだけは点灯して地区の方々の集合場所としての目印になるようにしています。その街灯には、100Vのコンセントがあり携帯の充電、小電器器具くらいは出来るようになっていました。

非常時にどのような状態になるかはわかりませんが、人が集まり情報が集まれるような場所にしたいと思っています。

3.11の震災時は、その日国交省からの要請で停電のため、バイパス上田の地下道に発電機を運搬、設置しました。

同じ日、東北電力からは技術センターに発電機の燃料の補充をお願いされました。電力自体も停電のためその晩は、発電機で対応しなきゃいけない状態でした。近くの現場から軽トラで

社員が運搬しました。

震災後、5日後後に陸前高田に状況を見に行きました。うちの会長、社長も私も陸前高田で圃場整備をして思い入れがある場所で、真っ先に状況を見に行きました。悲惨な状況の中、公民館に寄ったところ、地元の人たちが集まっていました。菱和建设の名前を覚えていて「よく来た」と涙流して喜んで迎えてくれました。そのあと、ガレキ片付から始め復旧作業を24年5月まで続けてきました。

また国交省の依頼で田老の啓開（道路の切り開き）作業を依頼され、3月いっぱい行いました。車で寝泊りでの作業となりました。盛岡からはその都度会社からおにぎりなど食料を差し入れして頑張ってもらいました。

震災の年の9月からは月1回社員5~6人交替で陸前高田のボランティアに参加して復旧の手伝いをしています。いま3周目に入っています。さらに継続しているところです。

話は前後しますが、3.11の年の正月は豪雪だったことを覚えているでしょうか。

私は普通に正月の朝を迎えておりました。大晦日からの雪が積もりまぶしい朝でした。会社の電話当番から電話が入りました。「電力さんから除雪お願いできませんか？と来ています。電話してもらえないですか？」

すぐ電話したところ「昨日からの大雪の影響で電線が切断されあちこちで停電になっています。現場まで行きたくても除雪をしないと作業車がいけない。何とかありませんか」「場所とかは会社にファックスします。」ということでした。

8時半ごろ会社についてファックスを見ながら電力さんに電話しました。場所は玉山の巻堀と葛巻と奥中山でした。部長、次長クラスを急きょ会社へ呼んで、対策室を設けました。

除雪の担当に連絡取ったところ、昨夜からの除雪が目途立ってからでもよければ何とか出来るかな？と言われ、その通り電力さんに返事をしました。現場からの連絡が来て、「菓子から10時ころにはタイヤショベル1台は動ける」ということで、玉山の巻堀に移動することにしました。トレーラーで移動しようとしたのですが、国道4号線は雪道ガタガタで大型トラックが通行できる状態じゃないということ、自走する

ことにしました。普通1時間半くらいの移動時間なのですが、5時間かけて3時ころようやく現地に着き除雪を開始しました。

その日の3時ころにもう1本の電話が私の携帯にかかってきました。

ネクスコメンテナンス東北からの電話でした。東北自動車道も前日からの大雪で通行止めになっていて、本線、パーキングを完全に除雪しない通行止め解除にならない。それで除雪を手伝ってもらいたいとのことでした。

「高速道路は、大型の除雪車じゃないとだめだな」ということで、イオンとかの除雪を請け負っている協力業者に電話したところ、ちょうど前日からの除雪が終わったところで、対応OKをネクスコに伝えました。6時に盛岡インターチェンジ集合して竜が森方面に向かいました。大型ロータリー車1台、ホイールローダー2台を用意して開始しました。翌日8時まで作業して通行止めは解除となり、後日感謝状をいただきました。

話は戻って、翌日1月2日は、巻堀を10時ころまで作業して次の現場、葛巻町に移動しますと電力さんに連絡したところ、岩手町から葛巻を超える大坊峠付近で送電線が垂れ下がって県で通行止めしているとの情報があるけど大丈夫か？と、すぐに県土整備部にいる同級生の携帯に、通行止めの件を聞きました。確認してもらったらその通りだということでした。「菱和建设で葛巻の除雪に向かうところだ」と言えば通すように話しくから大丈夫だ。と返事もらって葛巻に向かわせました。この移動時間がなんと11時間でした。オペレーターも同行しているうちの社員もへとへとで着いた時間が夜の10時でした。その他に2台応援に盛岡から走らせたのですが、この移動時間が18時間でした。

翌日1月3日、3台で除雪を開始しました。が、翌日の朝4時まで掛って終了しました。もう1ヶ所奥中山も除雪をして、正月4日間がようやく終わりました。これも非常に感謝をいただきました。

正月早々の事件ではありましたが、みなさんに喜ばれること、皆さんの生活を守ることが我々の使命だなどつくづく思うところです。

その後の震災対応で、ネクスコメンテナンス東北から東北自動車道の泉-仙台宮城間と山形

道の川崎、常磐道の亘理の復旧工事がありました。ネクソメンテナンス東北はさっき話した除雪からのお付き合いでの流れで、協力してくれるところを当たっていたところでした。何とか協力しました。

環境省の浄土ヶ浜海岸歩道復旧工事は、環境省からの相談で浄土ヶ浜の遊歩道の復旧工事があるが応札者がいなくて、再公告したところ今回も誰も来ていないので、何とか応札をお願いします。ということでした。環境省に出向いたところ応札者は我々だけでした。厳粛な空気の中、入札が開始され2回目の札で何とか仕事をやることになりました。

最近の出来事での我々の対応をちょっとお話しします。

8月9日は大雨でしたが例会の最中に緊急速報メールあちこちで鳴ったことを覚えていると思います。盛岡周辺では繋温泉などで土砂崩れが起きホテル大観はじめ旅館が大変な被害を受けました。

その時国道46号線でも全線山側の土砂の流出と川の増水で9日の11時頃から通行止めになりました。その日から11日夜まで災害復旧に対応して12日7時に通行止めを解除しました。国道46号線は秋田と岩手を結ぶ大事な道

路です。お盆が近いということで国交省も必死で開通に向け動いていました。

この件に関しても東北地方整備局から災害対策功労者として11月8日に表彰をけることになっています。

台風18号は八幡平周辺でした。松川、赤川の下流の増水で下流玉山区でもうちの社員の実家が床上浸水と乾燥機小屋が破損という被害が起きました。その週末には社長はじめ社員7人でボランティアに行ってきました。

また、平成23年に完成した焼走りの近くの砂防では、やはり土石流が発生し土砂8,000m³、流木500m³を捕捉しました。焼走りから八幡平リゾートに向かうパノラマラインとその下に広がる住宅地の土石流災害の発生を防止しました。なかなか自分たちの作ったものが実際災害防止に機能したことは、非常に満足感があります。

いろんなことが起きているいま、みんなが困っているときには、何とかやってやりたいという気持ちをもって対処しています。出来ることは限られていますが精一杯頑張っていきたいとおもっています。

やり遂げた後の、皆さんの「ありがとう」という言葉と笑顔がやっぱり快感であります。

例会報告

第17回例会
平成25年11月1日(金)

於 川徳 12時30分 開会点鐘

- ・司会 平井 滋会長
- ・ソング 奉仕の理想
- ・ピジター 山口淑子さん(盛岡滝ノ沢R.C.)、田村 武さん(盛岡滝ノ沢R.C.)。
- ・会長報告 平井 滋会長
- ・新入会員紹介 西田直貴会員 大和証券盛岡支店長 紹介者：村井研一郎会員
- ・佐藤仁志会員 鹿島建設盛岡営業所長 紹介者：小川 惇会員
- ・皆出席バッチ 熊谷祐三君(28年)・福田荘介君(28年)・長澤茂君(9年)
- ・入会祝 福田荘介・熊谷祐三・藤村文昭君。

- ・誕生祝 米内 正・熊谷隆司・阿部 広・坂本広行君。
- ・結婚祝 熊谷隆司・佐藤義正・小川 惇・斎藤和好・近藤 駿・平井 滋・江口博朗・佐藤重昭・桑田周一・西田直貴・阿部勇一・竹中陽一君。
- ・幹事報告 平野佳則幹事

【ニコニコBOX】

- ◆熊谷隆司君…去る10月24日、県立大学を職場訪問してきました。参加者は平井会長以下15名でした。就活には、大学と企業との連携が必要だと感じさせられた1日でした。参加された会員の皆様に感謝しつつニコニコします。
- ◆平野佳則君…10月15日に赤レンガ、岩手銀行旧本店本館のペーパークラフトを発売いたしました。売上金として見込まれる金額の一部を岩手県に同日寄付させて

頂きました。製作にあたっては、盛岡城のペーパークラフトに続き川口印刷工業様に、ご尽力頂きました。IBC岩手放送、岩手日報様など報道機関にも大きく取り上げて頂きました。本日も日経 MJにも掲載されました。岩手銀行様はじめお世話になりました。多くの皆様に感謝申し上げニコニコします。

- ◆竹中陽一君…菱和建设様には大変お世話になりました。感謝を込めてニコニコします。大変ありがとうございました。

●メイクアップ

盛岡北R.C.= 樋山・勝部・川村(登)・高柳盛岡南R.C.=福田(荘)・近藤君。盛岡西北R.C.=佐藤(重)君。盛岡滝ノ沢R.C.=飯塚・竹中君。クラブ委員会=千葉・平野・中山・西島君。